

2020 年度 第 2 回 7 月 早慶上理・難関国公立大模試 地理 B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 字数オーバーは 0 点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは 1 点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は 1 問につき 1 点減点。
(指定語句は，解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，指定語句抜けの減点は不要。)

(*減点しなくていい要素，その他の注意)

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

3

問1 1点 エ

問2 各1点×3 芋類：オ どうもろこし：エ ミレット：イ

問3 a 3点

乾燥して樹木の乏しい（地域）

【加点ポイント】（★「地域」につながらない解答は -1点）

- ① 乾燥／降水量（雨）が少ない →2点
- ② 樹木が少ない／木材を得にくい →1点

問3 b 2点 日干しれんが／アドベ

問4 6点

都心周辺で老朽化したインナーシティが再開発によって高級化し、高所得層が流入して住民が入れ替わる現象。

【加点ポイント】

- ①（場所）都心周辺／都心部／インナーシティ →2点
- ② 再開発／住宅建設／高層マンションの建設 →2点
- ③ 高級化する／高所得層が流入する／住民や店舗が入れ替わる →2点

問5 1点 ⑩

問6 各2点×3 ①：オ ②：カ ③：ア

問7 1点 タ

問8 2点 アフリカ

4

問1 2点 エ

問2 2点 ア

問3 2点 ウ

問4 2点 エ

問5 3点 アラビア語

問6(1) 各2点×4

A：亜熱帯高圧帯／中緯度高圧帯 B：テラロッサ (※「テラローシャ」は×)

C：二圃式農業 D：生産性／労働生産性

問6(2) 6点

各地域の独自の伝統的な生産方法を支援し、EU域内の農業を均一化するのではなく、地域の特色を重視した農業を推進するため。

【加点ポイント】

① 伝統的な生産方法を支援する／EUの生産基準に沿わないことを許容する →3点

② 地域の特色を重視した農業を推進する／ブランド化により高い付加価値をつける →3点